

先日、3年生の男の子が「先生、中央大学（茗荷谷駅の近くに新しくできた校舎）の前で、セミの幼虫見つけた！」と見せに来てくれました。確かに、そろそろセミの羽化が始まる季節です。しかし、セミの幼虫は、早朝に土から出てきて、すぐに羽化に適した木に登ってしまうので、生きた幼虫を目にする機会はなかなかありません。

見せてもらおうと、確かに「抜け殻」ではなく「生きた幼虫」です。机上に載せると元気に這いまわっていました。このあと採集した男の子が「網戸にとまらせて羽化させる」というので、そうさせました。1時間ほどすると、背中に亀裂が入り、羽化が始まりました。残念ながら、途中で窓枠に落下してしまい、うまく羽化できなかったようです。

しかし、ほとんどの子どもは生きたセミの幼虫を見るのは初めてのようで、実に興味津々の様子でした。  
(2023年6月下旬／附属小学校3年教室で撮影)

